

総合的な学習の時間 学習指導案

令和6年1月30日(火) 第5校時
場所 6年1組 6年2組 6年学習室

1 単元名 「ぼくのわたしのSDGs」～チーム青毛 “SDGsプロジェクト”～
小単元名「青毛SDGsプロジェクト ～ver 2～」

2 単元の目標

「SDGs」の内容の探究をきっかけとし、世界各国で行われている「SDGs」の取組が多方面から行われていることや日本を含む世界各国が努力していることに気づき、課題の解決に向けて自分の考えをまとめ適切に表現するとともに、地域社会の一員や青毛小学校の一員として、自分ができる「SDGs」の取組とは何かを探究し、生活や行動に生かそうとする。

3 児童の実態

省略

4 教材について

1 単元計画の工夫

児童の探究活動の中で、必要なもの、こと、人を考え、自分達で自己選択、自己決定を繰り返しながら課題を解決する過程を味わうことができるようにした。自己選択、自己決定する際には、自らのめあてや学びを振り返ったり、他者の考えを参照したりする等、自己調整する場を意図的に設けることでより良い学びになるようにした。

また、人的・物的リソースにすぐにアクセスすることができるよう、情報をQRコードで示し、活用することができるようにした。

単元を通し、未来社会に自分がどう貢献できるのか考え、実行できる「未来のイノベーター」を育成すると共に、「持続可能な社会の創り手」として、青毛小学校発信で行う「SDGs」を計画・実践・発信までできる姿を下級生に見せることができるようにする。

2 学習環境の工夫

自分達の課題解決に必要な情報を書籍や新聞、インターネット等だけでなく、児童自ら専門家と連絡を取ることができるようにした。

さらに、学校という学びの場を広く捉え、教室や学習室、パソコン室等、校舎全体が学び舎(学びの場)であると捉え、自分達にとってふさわしい活動場所や学習環境を選択できるようにした。専門家から刺激をもらうことで、学習により一層没頭できるようにした。

そして、単元の最後には、「目指せ、久喜市のインフルエンサー」と題し、SDGsの取組を久喜市全体へ広めていく。

3 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 (ICTの活用を通して)

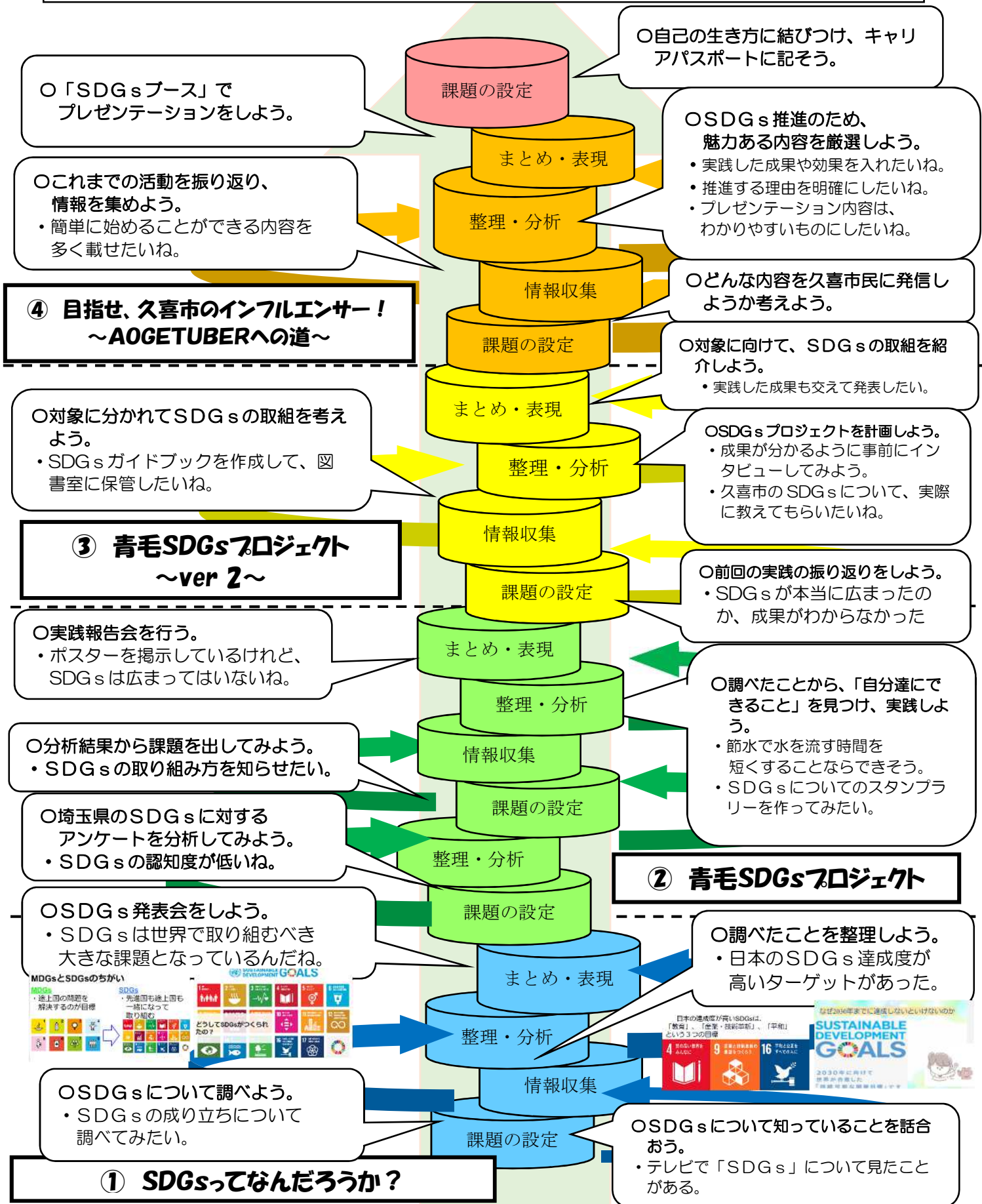
児童が自ら学びを調整し、計画性をもって学習を進めることができるように、単元の流れを提示する。自らの課題について単元での計画と実際の進捗状況など、その都度確認しながら学習進度を自分で調整できるようにした。単元計画、めあて、振り返りを1枚のス

プレッドシートで書き溜めることで、「今日の活動」を明記し、「次回行うことや次回までに必要なこと」を自身と対話できるようにし、次回の学びへの意欲を高めることができるようにした。

また他者参照も積極的に取り入れ、自己の学びの世界だけでなく、他者の学びからもヒントを得るなど、それぞれの学習活動が、協働的な学びを通して、より深まるようにした。

5 単元で予想される活動の流れ

「SDGs」という内容を踏まえたこれからの生活や未来への過ごし方について考えよう。






6 単元の評価規準




知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 「SDG s」の取組が世界や日本で行われていることを知るとともに、その取組を続けている人や組織の存在、思いに気付いている。</p> <p>② 「SDG s」に対して、多面的な視点で自分達にできる取組を選び、実践している。</p> <p>③ 「SDG s」と自分達の生活には関連があることの理解は、「SDG s」を探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>① 「SDG s」について、世界や日本の現状や身近な生活から課題を設定し、解決に向けた自分達にできることを見通している。</p> <p>② 「SDG s」の問題を解決するために必要な情報や手段を選択して収集している。</p> <p>③ 「SDG s」の活動を進めるために、事象を比較したり関連付けたりして、理由や根拠を明らかにし、具体的な活動を決定している。</p> <p>④ 「SDG s」の達成に向けた自分の考えを表現方法の特徴や表現の目的に合わせて分かりやすくまとめ、表現している。</p>	<p>① 「SDG s」に関心を持ち、自分自身の生活を見つめ直し、自分の意志で探究的な学習に取り組もうとしている。</p> <p>② 「SDG s」の探究活動を通して得た知識や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組もうとしている。</p> <p>③ 自分と「SDG s」とのつながりに気付き、探究的な学習を基に「自分にできることは何か」の視点をもって活動し、自分の思いや考えを振り返って今後の自分について考え、その行動を広めようとしている。</p>



7 単元の指導計画と評価計画（85時間扱い）



※「課題」：課題の設定 「情報」：情報の収集 「整理」：整理・分析 「表現」：まとめ・表現


過程	○学習活動 ・児童の思考	・指導上の留意点 ○評価（評価方法）	資源の活用 ○（人的リソース） ■（物的リソース） ※教科横断の視点
課題	<p>小単元1 SDG sってなんだろう？（9）</p>		<p>■SDGsCONNECT 「SDGs の世界の取組」  ■国連広報センター「2030 アジェンダ」 </p>
	<p>○オリエンテーション（1） ・単元のねらい、内容や計画を確認する。</p> <p>○「SDG s」について知っていることを話合う。（1） ・テレビで「SDG s」について見たことがある。</p>	<p>・単元の大きな流れについて講義形式で提案する。</p> <p>・児童のこれまでの生活経験から「SDG s」について知っていることを出し合うようにする。</p> <p>○思・表・判① （活動の様子・学習ポートフォリオ）</p>	




<p>課題</p> <p>情報</p> <p>整理</p> <p>表現</p>	<p>○「SDG s」について自分の課題を決める。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも「SDG s」とは何だろうか。 ・世界の「SDG s」事情はどうなっているのだろうか。 ・自分たちにもできそうなことはあるのかな。 <p>○「SDG s」について調べる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットで調べる。 <p>○調べたことを整理する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉やイラスト、写真を使って整理する。 <p>○「SDG s 発表会」をする。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の達成度にはよい点もあれば、課題点もある。 ・国によって取組内容には違いがあり、その国の文化に合う取組を行っている。 	<p>態② (活動の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SDG s」がどうしてできたのか、「SDG s」が盛んな国のランキングを基にした国など、児童の興味に任せ、納得いくまで課題解決に臨めるようにする。 <p>○思・表・判① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <p>態① (活動の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く大きいテーマである「SDG s」だからこそ、自分が関心の高い内容を突き詰めて調べる活動を行うよう声かけを行う。 <p>○知・技① (活動の様子) 態① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <p>思・表・判② (活動の様子・Google スライド・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことの整理や表現は、「Google スライド」を活用する。 ・「SDG s 発表会」を行うことを伝え、収集した資料の選定を行い、何をどのように発表するのかを考えることができるようにする。 <p>○思・表・判④ (Google スライド)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体で共有して、世界で取り組むべき課題であることを理解し、次の活動の見通しをもつことができるようにする。 <p>○知・技③ (学習ポートフォリオ・動画記録)</p> <p>態③ (学習ポートフォリオ・動画記録)</p>	<p>※国語科</p> <p>「情報と情報をつなげて伝えるとき」</p> <p>「私たちにできること」</p>
<p>課題</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>小単元2 青毛SDG sプロジェクト (25)</p> </div> <p>○埼玉県の「SDG s」に対するアンケートを分析する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達の住む埼玉県では、「SDG s」の取組や認知度はどうなっているのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・「SDG s」というテーマに対して、より課題意識をもつことができるように、埼玉県で実施されたアンケート結果を分析させ、課題設定へとつなげる。 <p>○思・表・判① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p>	<p>■栗橋地区開拓の市役所・企画政策課</p>  <p>■外務省「JAPANSDGs ActionPlatform」</p>	


整理	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート結果を分析した結果から課題を見つけよう。(1) ・埼玉県での認知度は、低い状況にある。 ・「SDGs」に対して、関心が低い状況にある。 ・「SDGs」を取り組んでみたいけれど、取り組み方が分からない人が多い。 	<p>態① (活動の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SDGs」というテーマに対して、大人であっても課題が多い現状を知った上で、自分達にはどのような取組ができるのかを考えられるようにする。 	 <p>■東京書籍 「Edu Town SDGs」</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○「SDGs」達成に向けて、自分達にできることを見つける。(1) ・どんなことならSDGsの達成につながるかな。 	<p>○思・表・判① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県で実施されたアンケート結果を受けて、「SDGs」の実践が後々の「発信者」としての側面ももつことを踏まえて、どんな取組ができるのか課題意識をもつことができるようにする。 	 <p>■STEAM ライブラリー「次世代都市づくり」</p>
情報	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分達にできる取組」を見つける。(5) ・節水につなげて、ろ過装置をつくってみたい。 ・SDGsについて楽しみながら学べるように、スタンプラリーを実施するよ。 	<p>○思・表・判① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実現したときの効果を意識しながら、取組内容の情報を集める。 ・国語科「私たちにできること」と関連させ、実現したときの効果を意識した提案文を作成しながら進める。 	 <p>○埼玉県総合教育センター 企画調整担当 ○久喜市教育委員会 企画政策課 ○久喜市給食センター</p>
整理	<ul style="list-style-type: none"> ○整理したことをまとめる。(6) ○「自分達にできる取組」の実践計画を立て、選択する。 ・来週の給食の時間に、放送でスタンプラリーの実施を呼びかけよう。 ・栄養士さんに給食の残食についてインタビューしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の実践のために、期間の設定や必要なものなどを考える。 ・何のために取組を行うのかを意識させるとともに、目的に合わせて児童が主体的に計画できるよう促す。 	<p>※国語科 「私たちにできること」</p>
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分達にできる取組」の内容を実践する。(7) 	<p>○知・技② (活動の様子)</p> <p>態② (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮し、計画に沿って実践ができるよう促す。 	
表現	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分達にできる取り組み」の実践報告会を、スライドを活用して行う。(2) 	<p>○態② (活動の様子・動画記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組内容や成果、課題などを自分なりの方法でまとめることができるようにする。 	<p>※英語科 「My Best Memory.」</p>

表現	○「自分達にできる取組」の実践を振り返り、スライドにまとめる。(2)	<ul style="list-style-type: none"> ○知・技③ (学習ポートフォリオ) ○思・表・判④ (Google スライド) ・クラス全体で共有して、身近な生活の中でも様々な取組を行うことができることを知り、次の活動の見通しをもてるようにする。 ○知・技② (学習ポートフォリオ) ○態② (学習ポートフォリオ) 	
<p style="text-align: center;">小单元 3 青毛SDG sプロジェクト ~ver 2~ (35)</p> <p>課題</p> <p>課題</p> <p>情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の「SDG s」の取組を振り返ろう。(1) ・SDG sについて、ポスターを掲示することで、情報を発信することができた。 ・具体的な成果につながっているか課題が残った。 ○テーマの副題「みんなで未来を楽しく過ごすためにできることを話し合おう」について考える。(1) ・今から7年後までに達成を目指すものだから、自分達が成人した未来のことを考えるんだね。 ○SDG sの取組の対象を見つけよう。(1) ・これまでの取組の続きをしたいから、学校にするよ。 ・地域を対象にして、SDG sの取組を発信したいな。 ○対象に合うSDG sの取組を見つけよう。(3) ・食品ロス削減に取り組むために、給食の残食を減らす取組を考えたいね。 ・家庭で使っていないものや不要なものをうまく活用し 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SDG s」の達成に向けた取組について、成果もあれば課題もあるので、課題を減らすことができる洗練された取組を目指すことができるようにする。 ・最終的には、「SDG sの発信者になる」ということを確認し、目的意識を色濃いものにする。 ○思・表・判① (活動の様子・学習ポートフォリオ) ・学習していることが、自分達の未来にかかわる内容であることを感じられるようにし、学習への必要感をもつようにする。 ・「学校」、「家庭」、「地域」の3つの対象から選び、取組の方向性を定められるようにする。 ・対象は活動の途中で変わってもよいことを伝える。 ○思・表・判① (活動の様子・学習ポートフォリオ) ・学年合同の活動とし、3つの教室を対象ごとに分けて活動を進める。 ・「Jambord」に個人で情報を集めながら、必要であれば、近くの人と 	<ul style="list-style-type: none"> ■久喜市SDG s パートナーシップ制度について <li style="text-align: center;"> ■市内小・中学校の実践 <li style="text-align: center;"> ○久喜市教育委員会 企画政策課 ○久喜市給食センター ○株式会社セブンイレブンージャ

<p>課題</p>	<p>たいね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と連携してSDGsの情報をより広く発信できる方法を考えたいね。 <p>○対象に合う自分達にできる取組を決定しよう。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で不要になったものを集めて、青毛小バザーを復活させたいね。 ・節電や節水をしたいけれど、データをどのように集めればよいか。 ・家で読まなくなった本を回収して、多くの人が本に触れる機会を増やしたいな。 	<p>情報を共有できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考える手立てを「Jambord」に貼り付けておき、適宜使用できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・対象ごとに3～4人のグループで活動し、探究を進めていく。 ・調べたことをまとめるときには、考えるための技法(思考ツール)を活用できるように促す。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>座標軸</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ピラミッドチャート</p>  </div> </div>	<p>パン様の出前授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青毛小学校 PTA ○矢野農園様 ○久喜市ふれあいセンター ○ワールドプラスジム久喜青葉店様
<p>情報</p>	<p>○グループで決まった取組を企画しよう。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達で作った地産地消のサイトを久喜市のホームページにリンクを貼らせてもらうことはできないかな。 ・家庭で不要になった野菜を集めて、腐葉土を作ってみたいな。 ・福祉について学んだ4年生以上の学年に向けて手話理解を深められる情報を届けたいな。 	<p>○思・表・判① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「To Do リスト」を全グループで参照できるようにし、自分達に必要なこと、もの、人を検討できるようにする。 ・教師は、「みんなはどうしたいのか。」「みんなは何をしたいのか。」を合言葉にし、自分達の課題を自分達で解決できるようにする。 ・外部の方とのやり取りの前には、事前の確認が必要であることを伝え、自分達でむやみに連絡をすることがないよう指導する。 	<p>※国語科 「みんなで楽しく過ごすために」</p> <p>○久喜市教育委員会 企画政策課</p>
<p>整理</p>	<p>○グループで決まった取組を準備・計画しよう。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも、久喜市がSDGsについてどんな情報を求めているのかを知ることが必要かもしれないね。 ・家庭でどれだけ不要な野菜があるのかを調べれば、データが取れるね。 	<p>○思・表・判② (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備や計画の中で、児童が「知りたい」と思ったときに、情報のアイデアが出せるように、各グループの方向性に合う外部の人的リソースをあらかじめ調べておく。 ・外部の方とつながるときの連絡の際には、失礼がないようにするためにはどうすればいいかを、国語で学習した見方・考え方を働かせて考えることができるよう促す。 <p>○知・技② (学習ポートフォリオ)</p>	<p>※国語科 「話し言葉と書き言葉」</p> <p>※算数科 「データの活用」 (STEAM^M)</p>

表現	○グループで決まった取組を実践しよう。(4)	<p>思・表・判③ (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に配慮し、計画に沿って実践ができるよう促す。 	
課題	<p>○取組の実践からレベルアップできるところを見つけよう。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 節電の取組をしたけれど、なかなか数字上では、成果が出ていないね。 つくって腐葉土の使い道を考えたいな。 バザーで得た収益を何かに使うことはできないかな。 	<p>○態② (活動の様子・動画記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組の課題となることや更なる探究につなげることを見つけられるようにする。 自分達の取組の成果に根拠をもたせることを意識させ、残る課題を明確にできるように声をかける。 実践をして終わりではなく、更なる探究課題を自分達でつくれるように支援する。 	<p>※算数科 「データの活用」 (STEAM)</p>
情報	○取組の企画をしよう。(2) ・よりデータのわかりやすい節電の方法を電力会社の方からアドバイスをもらいたいね。	<p>思・表・判① (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題の解決のために必要なもの、こと、人を自分達で考えさせ、自分の課題を自分達で解決できるよう促す。 データのまとめ方は、算数科や理科で学んだ見方・考え方を活用できるようにする。 	<p>※理科 「電気と私たちの生活」 (STEAM)</p>
整理	○取組を準備・計画しよう。(3) ・待機電力ゼロになる取組を全校で呼びかけて、期間限定で行ってみよう。	<ul style="list-style-type: none"> よりデータにこだわりながら取組が進められるようにする <p>○態② (活動の様子・学習ポートフォリオ)</p>	
表現 (本時)	○取組の実践をしよう。(5)	<ul style="list-style-type: none"> 安全に配慮し、計画に沿って実践ができるよう促す。 <p>○態② (活動の様子・動画記録)</p>	
表現	<p>○「自分達にできる取組」の実践を振り返り、スライドにまとめる。(2)</p> <p>○青毛小学校の下級生に向けて、実践報告会を、「SDGs集会」の中で、スライドを活用して行う。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識をもちながら、活動のまとめができるようにする。 <p>○知・技③ (学習ポートフォリオ)</p> <p>思・表・判④ (Google スライド・動画記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> 青毛小学校全体で共有して、身近な生活の中でも様々な取組を行うことができることを知り、次の活動の見通しをもてるようにする。 	<p>■NHK for school 「プレゼンテーションを作る」</p> 

		○知・技② (学習ポートフォリオ) 態② (学習ポートフォリオ)	
小単元4 目指せ、久喜市のインフルエンサー！～AOGETUBERへの道～ (16)			■久喜市のSDG s 発表会 
課題	○久喜市民に発信する「SDG s」について考える。(1) ・自分達が行い取組んできた節電を、久喜市全体で行い取組んだら、どんな成果があげられるのかな。 ・家庭と協力した取組を発信して、児童館のイベントの1つとして提案してみたいね。	・自分達にも身近な動画資料とプレゼンテーション資料を駆使しながら、取組の提案ができるようなものになるよう促す。 ・発信する対象を明確にすることで、これまでの活動内容を精選して紹介できるように、どんな取組をどのように伝えるのかを考えることができるようにする。 ○思・表・判③ (活動の様子・学習ポートフォリオ) 態② (活動の様子)	■NHK for school 「動画で伝える技(1)動画作りに挑戦！」 
情報	○これまでの活動から、久喜市民へと発信する内容を選択する。(3) ・家族連れの人が多いはずだから、お家の人向けの情報を入れたいね。 ・家庭でもできる内容を中心にまとめてみたいな。	・「SDG s」について発信する対象が久喜市民という広い範囲のため、「こんな人に届けたい」という思いをもちながら、発信内容を選択できるようにする。 ○思・表・判③ (活動の様子・学習ポートフォリオ)	※理科 「人と環境」 (S T E A M) ※国語科 「今、私は、ぼくは」
整理	○久喜市民に向けてのPR報告会の準備をする。(6) ・サイトのアクセス数やフォームでもらった意見も載せると見た人も納得してもらえるかもしれないね。 ・実際に取組んでもらった下級生にインタビューを試してみるのはいかがでしょうか。 ・データを取り組む前と後で変化のあるグラフで表せると、説得力があるね。 ・青毛小学校全員で行い取組んだ成果を「数値」を使ってアピールしよう。	・どのように発信すれば、説得力があるのか、「SDG s」を知ってもらって取組を行ってくれるのかなど、相手意識を常にもたせながら、PR報告の準備を行う。 ・PR報告の中にアンケートやフォームのQRコードを入れることで発信のフィードバックがもらえることも気付かせながら、成果が自分達の手元に帰ってくるよう工夫を行う。 ○知・技② (学習ポートフォリオ) 態② (活動の様子)	※社会科 「世界の未来と日本の役割」 ■SMILE TECH ホームページ 
表現	○みんなのできる「SDG s」の取組の紹介のクラス内リ	・本番を想定したりハーサルができるように、批判的な視点をも	(S T E A M)

<p>表現</p>	<p>ハーサル会をする。(2)</p> <p>○「ぼくの わたしのSDGs」プレゼンテーションをする。 (2)</p>	<p>つことの重要性も伝え、よりよいものになるよう行う。</p> <p>○態②(活動の様子・学習ポートフォリオ・スクラッチ)</p> <p>・PR報告の様子を撮影し、ほかの学級がICTを活用して閲覧できるようにする。</p> <p>○知・技③(学習ポートフォリオ) 思・表・判④(活動の様子・学習ポートフォリオ・Google スライド・動画記録)</p> <p>態③(活動の様子・学習ポートフォリオ)</p> <p>・学習の成果を生かしながら、「SDGs」という内容を踏まえたこれからの生活や未来への過ごし方について広く市内外への発信をする。</p> <p>○知・技③(学習ポートフォリオ) 思・表・判④(活動の様子・学習ポートフォリオ・Google スライド・動画記録)</p> <p>態③(活動の様子・学習ポートフォリオ)</p>	<p>■SDGsCONNECT 「SDGs の世界の取り組み」</p> 
<p>課題</p>	<p>○学習の成果を生かしながら、「SDGs」という内容を踏まえたこれからの生活や未来への過ごし方について自分の人生や将来について考えよう。(2)</p> <p>・「SDGs」という大きな達成目標に対して、自分ができることや考えたことをキャリアパスポートに記し、表明する。</p>	<p>・単元を通して学習してきたことを想起しながら、学んだこと、考えたことを書けるようにする。</p> <p>・改めて、自分の未来に大きくかかわっている学習内容であることを意識づける。</p> <p>○知・技③(学習ポートフォリオ) 態③(学習ポートフォリオ)</p>	

8 本時の学習指導（本時 6 7 / 8 5 時）

(1) 目標

「SDGs」の探究活動を通して得た知識や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組もうとしている。

(2) 展開

学習活動	・ 指導上の留意点 ○評価（評価方法）	時間
<p>1 前時の確認をする。</p> <p>2 本時の流れを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマの副題「みんなで未来を楽しく過ごすためにできることを話合おう」を掲示して視覚的に強調し、何のために活動を行っているのかを全員に意識づけるようにする。 ・ 前時の振り返りシートを確認する。 ・ グループごとに、「今日やること」をホワイトボード上で確認する。 	<p>1</p> <p>2</p>
<p>④ 『BESTプロジェクト』を前進させよう。</p>		
<p>3 各グループで活動計画に沿って、活動を進める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">【6-1 教室】地域チーム</p> <p>1 班：青葉グラウンドポイ捨て0企画 2 班：青毛地区ごみ拾い企画 3 班：食品ロス削減計画 4 班：自作米ストローで食品ロス削減企画 5 班：久喜市の地産地消を推進 6 班：京都市を例に、CO2「0」チャレンジ 7 班：ジムと連携した健康推進企画</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">【6-2 教室】学校チーム</p> <p>1 班：読まなくなった本の新たな使い道 2 班：青毛小にある神輿の復活企画 3 班：青毛小エコキャップリサイクル 4 班：青毛節電・節水企画 5 班：給食の食品ロス削減企画 6 班：給食の食品ロス削減企画</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">【6年学習室】家庭チーム</p> <p>1 班：青毛バザーの復活（マイバッグ販売） 2 班：太陽光で生活を豊かに企画 3 班：食べない野菜で肥料をつくる。 4 班：青毛バザーの復活（マイバッグ販売）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の活動場所を担当が分担して支援したり、「Winbird」機能を活用したりして、児童の活動の状況を確認する。 ・ 活動の終了時間を掲示しておく。 ・ 教師は児童自身が自己決定をしながら学びを進めることができるよう、支援する。 ・ 教師は、児童が必要とするリソースについて、適切に導くことができるようにする。 ・ 専門家のアドバイスを求める際には、手順書を確認できるようにする。 ・ オンラインで専門家から話を聴く場合には、パソコン室や図書室を活用できるようにする。 ・ グループや対象の垣根を超えた情報のやり取りも大いに認め、多くの視点から活動が行えるようにする。 ・ 自分の役割が分からず、活動に取り組むことが出来ない児童に対しては、グループの課題を一緒に確認したり、グループの仲間と今日の活動内容を確認したりすることを通して、活動できるよう促す。 ・ 活動が楽しさ重視になってしまっている児童には、めあてに立ち返るよう声掛けする。 <p>○「SDGs」の探究活動を通して得た知識や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組もうとしている。 （活動の様子・学習ポートフォリオ）</p>	<p>3 7</p>

<p>【パソコン室】 オンライン会場</p>	<p>【図書室】 オンライン会場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スプレッドシート上に、本時の活動について振り返るとともに、次時の活動について考える。 ・今日の振り返りをもとに、次時について期待感をもって終えることができるよう声掛けする。 	<p>5</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p>			

9 板書計画（6-1、6-2、6年学習室の各教室ともに設置）

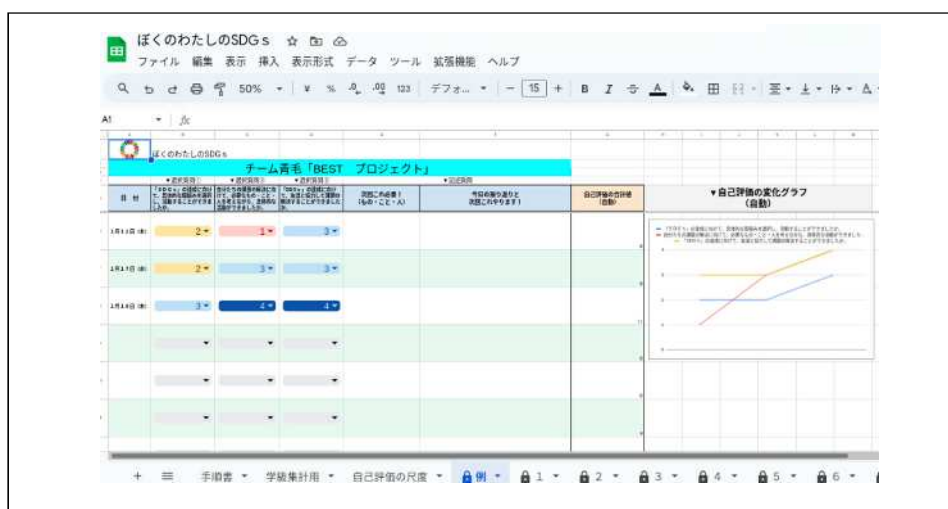
ぼくのわたしのSDGs ～みんなで未来を楽しく過ごすためにできることを話合おう～

単元をつらぬくめあて
「SDGs」という内容を踏まえたこれからの生活や未来への過ごし方について考えよう。

📖 『BESTプロジェクト』を前進させよう。

(班) グループの 活動内容	(班) グループの 活動内容	(班) グループの 活動内容	(班) グループの 活動内容
(班) グループの 活動内容	(班) グループの 活動内容	(班) グループの 活動内容	

〈電子黒板 児童の振り返り〉

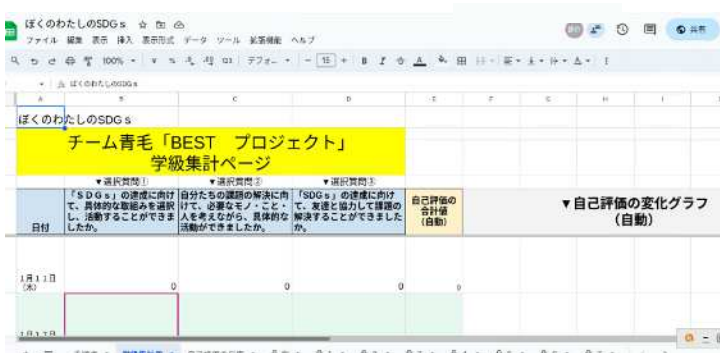


10 児童が連携している専門家

グループ	児童の考え	専門家
地域4班	米스토ローの作成	株式会社もち吉
地域5班	久喜市の地産地消の推進	矢野農園
地域7班	健康推進企画	ワールドジム+青葉店
学校1班	読まなくなった本の新たな使い道	青毛小図書ボランティア
学校3班	ペットボトルキャップのリサイクル推進	・株式会社セブンイレブン ジャパン ・アルファジャパン
学校5班	給食の食品ロスの削減	久喜市立学校給食センター
学校6班		
家庭1班	青毛バザーの復活（マイバッグ販売）	マルエツ 久喜店 青毛小学校PTA
家庭4班		

11 ワークシート（スプレッドシート上に集約）

①学級集計用ページ



②自己評価の尺度

自己評価をする際の尺度			
選択質問1	選択質問2	選択質問3	
尺度	「SDGs」の達成に向け、具体的な取組を選択し、活動することができましたか。	自分たちの課題の解決につながる、必要なもの・こと・人を考えながら、具体的な活動ができましたか。	「SDGs」の達成に向けて、友達と協力して課題を解決することができましたか。
4	SDGsの達成に効果がある実践について具体的な取組を選択し、活動した。	自分達の課題の解決につながる、必要なもの・こと・人を考え、それらに繋がりながら活動できた。	SDGs達成の具体的な取組に向けて自分の考えも、友達と協働しながら活動できた。
3	自ら具体的な取組を考へて活動した。	必要なもの・こと・人を考えながら、活動することができた。	友達と協働しながら課題の解決に向けて取り組むことができた。
2	友達から言われたことについて活動した。	友達から言われたことについて活動した。	友達から言われたことについて活動した。
1	できなかった	できなかった	できなかった

③振り返りシート

